

柏崎刈羽原子力発電所の取り組みについてお知らせします

当社福島第一原子力発電所は、津波により電源の大部分を失い、燃料を冷やし続けることができず、重大事故に至りました。

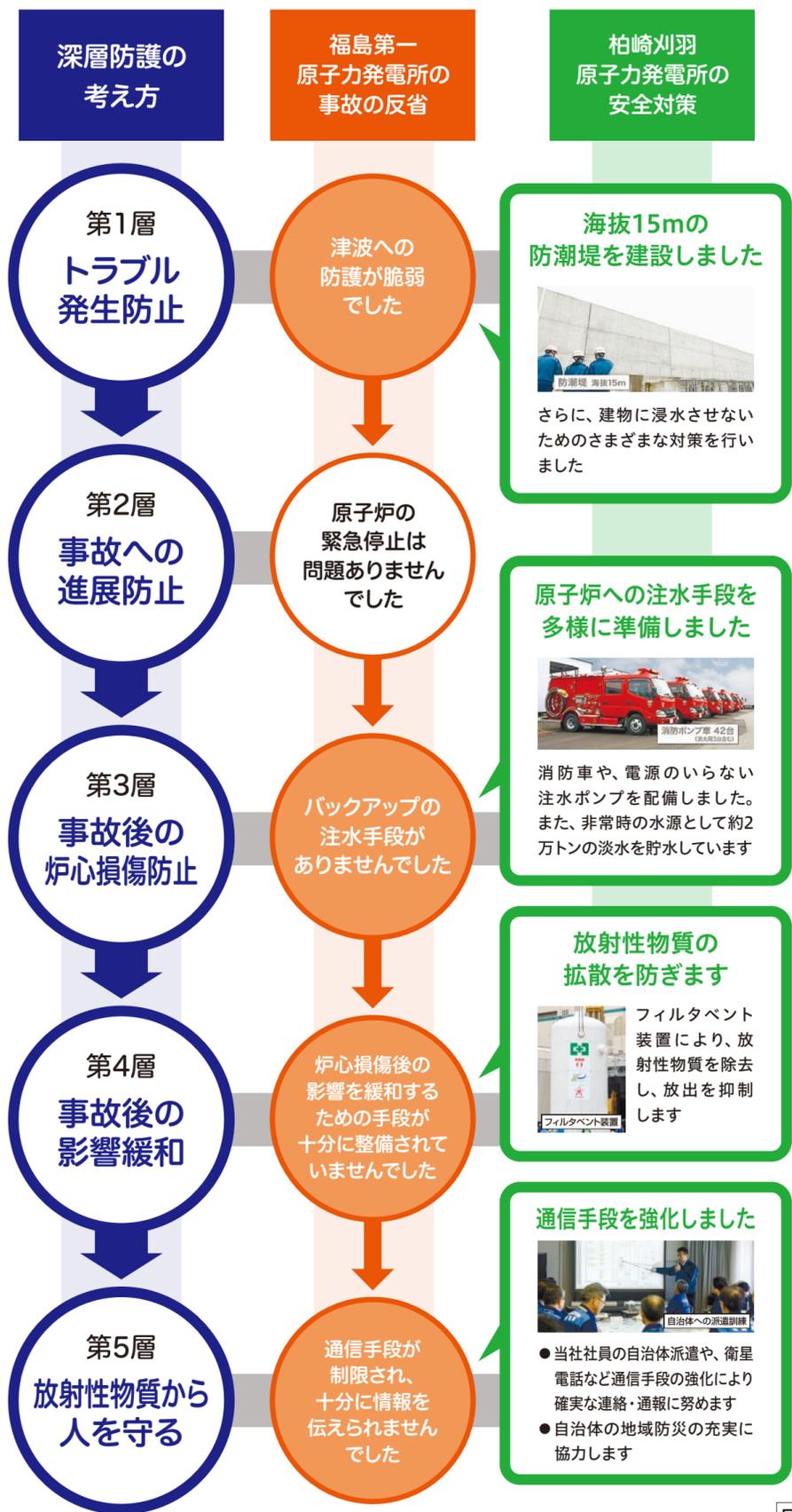
事前の備えによって防ぐべき事故を防げなかったという反省のもと、柏崎刈羽原子力発電所では、二度とこのような事故を起こさないために、福島第一原子力発電所の事故を教訓としたさまざまな安全対策を進めています。

これらの安全対策の取り組み等が、新しい規制基準に適合しているかについて、現在、原子力規制委員会に審査いただいています。審査の状況についてご説明するために、6月8日に刈羽村、9日に柏崎市にて説明会を開催しました。

安全対策とその考え方

発電所では、深層防護[※]の考え方と、事故から得た教訓に基づいて、さまざまな安全対策をすすめています。

※深層防護：各層の防護に失敗しても次の層で進展を食い止め、影響を最小限にとどめること

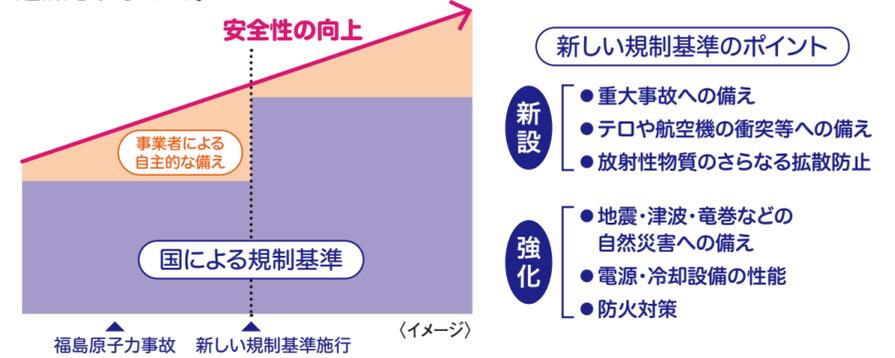


【発電所の安全対策】について →



新しい規制基準と審査の状況

2013年7月、国の原子力規制委員会による新しい規制基準が施行されました。これまでの安全基準が強化され、さらに、重大事故に備えた対策が追加されました。



2013年9月、原子力規制委員会に6、7号機の新しい規制基準への適合申請を行い、順次審査いただいています。

これまでに51回の審査、4回の現地調査[※]が行われました。

※2015年6月8日時点

【新しい規制基準の適合性に関する審査の状況】について →



「地域の皆さまへの説明会」を開催しました

皆さまのご不安に対し誠実にお応えするコミュニケーション機会として、発電所立地地域の柏崎市と刈羽村で説明会を行いました。いただいたご意見やアンケートをもとに当社の取り組みをお知らせします。

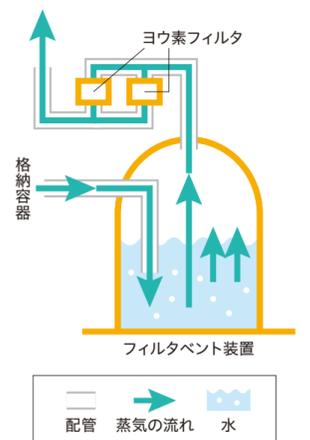


説明会の様子

Q なんのためにベントをするのですか？

A ベントとは格納容器内の蒸気を外部に逃がすことです。格納容器が壊れて、大量の放射性物質が外に出るのを防ぐため、燃料の損傷で高まった格納容器内の圧力を蒸気として外部に逃がします。

なお、フィルタベント装置やヨウ素フィルタを介することで、放出される放射性物質を大幅に低減できます。



Q あらゆる情報について、わかりやすく丁寧に説明してほしい。

A 今年4月に「新潟本社」を設立しました。これまで以上に新潟の皆さまとのコミュニケーションを密にし、わかりやすい情報提供に努めてまいります。

【地域説明会の説明資料】について →



ホームページ 安全対策の状況や説明会の資料をホームページに掲載しています。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/index-j.html>

柏崎刈羽原子力発電所

検索



携帯電話・スマートフォンからもご確認いただけます

お問い合わせ

新潟本社

025-283-7461

9:00~17:00(土日・祝日・年末年始除く)



東京電力
新潟本社

東京電力は、福島原子力事故を忘れることなく、安全を追求し続けます。